



61年

2月号

昨日も今日も
狂句が活い
力なっ

生きる支え、狂句づくり

牛ノ浜 忍さん…牛之浜区

「人には娯楽とか趣味があるが、私は、狂句づくりが生きがいだ。市内牛之浜区の牛ノ浜忍さん(60)。目がほとんど見えませんが、母親やめいなどの応援でさつま狂句づくりにはげめ、作品は大学ノートで百十五冊にもなった。

忍さんは十九年前、四十一歳のとき病気が原因で目が見えなくなつた。人生に失望しかけていたとき、テレビやラジオから流れてくるさつま狂句に興味をわき、独学、手さぐりの狂句づくりが始まつた。「健康者についていくには血の出る思いで勉強した。」と感涙を語る。狂句は「流石」「三日月」。

昭和五十二年ころからテレビやラジオなどに投稿をはじめ、入選や特選に入るようになった。

そして昨年、南日本放送の「さつま狂句学校」で年間最優秀賞に選ばれた。局から電話があつたときは涙が出るほどうれしかった」と、喜びを語る。

古老の話や朝晩のできごとをそのまま狂句にし、大学ノートに力タリナ文字で書き、これをめいたちが清書し、投稿してくれる。

さつま狂句を生きる支えとして、今日も頑張る忍さんです。(写真、写真中が忍さん。応援するめいの久代さん(右)と綾子さん(左))

あくまでも国による存続を!!

国立療養所阿久根病院

疑問だらけ、経営移譲

厚生省は去る一月九日、全国の国立病院、療養所のうち、約三〇%の施設を十年計画で統廃合、又は、経営移譲することを発表しました。この中に国立療養所阿久根病院が地方自治体等への移譲対象施設として含まれています。

同病院は、昭和二十年医療を開始して以来、今日まで約四十年にわたり、地域住民の健康づくりの要として大きな役割を果たしてきました。

行政改革の名のもとに今回出された整備計画ですが、私たちは地域医療を守る立場から、あくまでも国による存続、強化に向けての運動を粘り強く進める必要があります。計画の背景や今後の取り組みについて焦点をあててみました。

「地域医療の後退です」

署名運動で反対を

国立療養所阿久根病院は、昭和二十年旧日本医療団阿久根健康寮（結核診療所）として発足。昭和二十二年厚生省に引き継がれ、以来約四十年間、市民の健康づくりの拠点として、また川内、出水地区を含めた北薩地区唯一の医療機関「国立病院」として地域医療に携わってきました。この間、病棟の増設、サービス棟、機能訓練棟の開設など施設の近代化を図り、昭和五十五年には市民希望の小児科も開設しました。現在百九十五床（一般百四十五床、結核五十床）、内科、小児科、外科の診療を行う国立病院として地域医療に貢献しています。

国はどのような理由で統廃合、移譲をするのか

昭和五十六年設置された臨時行政改善推進委員会から五十八年、五十九年と二回にわたり国立病院と療養所の改善について大綱が示され、これに基づき厚生省は昭和六十年三月、全国の国立病院、療養所の再編成合理化の基本指針で「国立病院療養所は国民の医療に大きな役割を果たしてきた。しかし、最近、公私医療機関の整備が進み、量的な確保はほぼ達成された」とし、「今後は国立病院、療養所にふさわしい役割を果たす時であるが、国の財政を考慮する時、また、機能強化を図るため、統廃合又は、経営を移譲するのが望ましい」とした計画を発表したもので、全国二百二十九の国立病院療養所のうち四十ヶ所を統廃合、三十四ヶ所を経営移譲の対象にしています。

阿久根病院は、なぜ経営移譲（地方自治体等へ）の対象か

厚生省は経営移譲について「地域住民の一般医療の確保の役割は果たしているが病床数、診療機能、診療圏等を考えると国が直営するよりも他の経営主体が経営する方が望ましい」としており、阿久根病院についても病床三〇〇床以下、経営の非効率化を理由に①地方自治体（果しくは市町村）②医師会を含めた公的病院③民間医療法人等への移譲を計画しています。

計画はいつ実施されるか

厚生省は今回の計画を実施するため、今年中に法律を定め、昭和六十一年度を初年度に、おおむね十年計画で再編成を行うとしています。

存続へ向けての

これまでの取り組み

市ではこれまでも国による経営と施設の整備充実を訴えてきました。川畑市長は上京のたびに厚生省を訪ね陳情を続けており、議



経営移譲の危機にさらされている国立療養所阿久根病院

会でも、昭和五十八年国立医療労働組合阿久根支部から出された「国立病院、療養所の廃止や地方移管、民営化などに反対する」請願書を採択、意見書を関係機関へ提出しています。このほか市では、六十年二月に鹿児島県知事へ「存続と整備充実」の陳情書を、七月には中曽根首相、厚生大臣、県出身の国会議員に同じような要請書を提出し、国立療養所阿久根病院の国による存続と施設の整備拡充を強く訴えています。

今後の取組み

厚生省は今回出した再編計画をあくまでも実施するという強気を見せています。市では今回出された計画には絶対

国立療養所

阿久根病院の小史

市内新町小松原にある国立療養所阿久根病院は、昭和二十年六月旧日本医療団阿久根健康療養所（結核療養所）として発足。二十二年四月から厚生省に移り、国立加治木療養所阿久根分院として医療を開始。二十五年に国立阿久根療養所に、四十九年

対反対の立場を貫くため、従来通りの存続運動をさらに強く進めていき、住民と一体となった反対運動を展開することになっています。今後の取組みとして、市では、

市、民主団体の長などで組織する「国立療養所阿久根病院存続等懇談会」を発足させ、運動を展開します。具体的な動きとしては存続要求のため住民への署名運動、厚生省への陳情を活発にかさね、計画の徹底と国による存続強化をあくまでも要求していくことにしています。また、川内、出水を含めた北薩地域でも関係機関一体となつての存続強化運動を進めることにしています。

市民一体となった存続運動を

設の鉄筋化が始まる。五十年から五十二年にかけて病棟の増設が進む。五十四年には現在の名称、国立療養所阿久根病院となる。五十五年七月から小児科の診療も始まりました。

五十六年には機能訓練棟も完成し、百九十四床の病院に増設。現在、有馬自治院長のもとに、職員八十九人が勤務、入院患者は百四十五人（60年10月1日現在）

存続、強化へ向けて市の対策懇談会も発足



「地域医療の後退。私たち入院患者のことをどう思っているのか。安心して療養できない」等と不安をつのらせる患者。今回の移譲について反対の声は多い。

「国立病院としての使命は終わった」「地方医療の責任は地方自治体にある」「一部国立病院の充実に……」このような理由をあげ地域住民の医療への道を断とうとする国の施策には、国民の健康の保持、医療の確保に対する責任が失われていると思われています。あくまでも存続が基本です。それにはやはり市民一体となった存続運動が大切で、今後の取り組みに積極的な参加が期待されるところであります。

知恵をどう生かすか

活性化へ向けての店づくり 若者たち模索中

— 進取、の気性をいま —
— ふるさとUターンへの道は —

商業シリーズ②

「商店街の活性化を図るには相当の努力が必要」現状ではなかなか難しい。商店主や商業の若い後継者は苦悩する。人口が増えない、買い物客の流入が少くない。活性化を進めるための要因はつけては良い条件とはいえない。しかし、今、若者はチエを出し、模索を続けている。店舗改装でイメージアップを図った若者。通商会の現状がネックという若者。駅前通りではアーケードの改装も始まった。商店街活性化、発展への動きが見えてきた。

若者たちの「意気込み」や「やる気」はどうなのか、報告してみたい。

手紙をいただきました。
「阿久根の町が景気が悪い、お店が潰える、どれもこれも、私はやっぱりと思ひあたりました。昨年二回ほど帰郷して感じた事は、いつ帰っても本当に変わらばえしない、つまり、活性化されていらないという事です。まず、値段が高いという事です。例えば食堂のめん類にしても大阪と全然変わらなないか高いぐらい、ケーキ類にしても一緒です。」

半農半漁の阿久根では、お客を呼ぶためには、まず、いい品をどこよりも安くする事です。昔から阿久根には阿久根評判とかいう事

勧告にどれだけの店が 応えたのでしょうか

求と味に何年もかけて腕をみがいたようです。百円でも採算が合うように精根こめて仕事に情熱を燃してやっているのはいうまでもありません。人は良し悪しは必ず分ります。そうしたら逆に出水や川内からもお客を呼べるようになると思います。……略……

今、時代は多様化して人々も個性を売る時代です。時代の流れを読む事は大変にむずかしい事です。が、お客のニーズに合った商品を取る事、よい品を安くする事が今後の課題かと思うのです。

阿久根市の商業の発展を心から祈らずには居れません」

手紙は大阪府東大阪市にお住まいの阿久根市出身の主婦からの便りです。阿久根市商業の発展への折りをこめてのご提言です「お客のニーズに合った商品の展示」「よい品を安く」「精根こめて仕事に……」いずれも阿久根市商店に課せられた課題でもあるし、活性化への糸口として商店主が真剣に考えている問題でもあります。

昭和五十八年、阿久根市の商業診断の報告書が出ました。商業近代化の課題の勧告事項の中の一つに個別経営のレベルアップを図る

こと「が盛り込まれ「個別経営のあり方を見直し、品揃え、販売方法、店づくり、サービスのあり方を真剣に検討することが必要」と

誕生

おめでとう



出生児

保護者

区名

花木 美鈴	勝則	(波留)
牟礼 彰吾	宗明	(牛之浜)
大田裕一郎	豊茂	(尻無中)
赤木健太郎	政一	(一段)
田添 春葉	義信	(大下)
川越 拓朗	正博	(新町)
沖吉 輝	洋之	(大丸)
岩崎 優樹	益男	(大丸)
奥 将輝	和久	(牧内)
濱田枝里子	栄	(上野)
神上園周平	泰幸	(大丸)
久保 良介	福義	(新町)
永井野由紀	伸夫	(高之口)
海平早弥香	正信	(一段)
海平 正博	。	(一段)
新坂上 光市郎	。	(一段)
馬見新剛生	貢	(波留)
奥田 佑太	文雄	(牧内)
尻無濱直美	徳男	(尻無下)
田上 寿勝	達美	(高之口)
早水 真紀	博海	(上原)
堀留みゆき	建三	(黒之浜)
石澤 美幸	一昭	(大下)
梶尾 伯	隆昭	(黒之浜)
林 あい	八郎	(上原)
堀尾 拓郎	秀人	(堀之西)
堂後 浩一	猛	(桐野上)
野崎 猛	栄司	(上野)
山崎おりえ	文明	(上野)



青年会議所総会

「あなたは、
主演はあなたです」

勧告し、お店の熱意を店舗づくり
に反映させないとしています。
この勧告にどれだけの商店が応
えたでしょうか。ほとんどは現況
のまま、しかし、いち早く改装し
てイメージアップを図った店も多
くあります。国道沿いに新しく店
舗を移したお茶屋さん「店が明る
くなり、初めてのお客も気軽に店
に入って買ってくれる」と改装の

資金面で相当の プレッシャーが

しかし店舗の改装、新築には相
当の資金が必要で、ある若者は「せ
つかく店をきれいに改装し、商品
も多く揃え、消費に期待をかけて
いたが、売り上げが伸びない」多
額の借金だけをかせ毎日火の
車だとい個人の方ではどうする
ことも出来ない商売の厳しさを味
わっているというところで、現在の
商業力からすぐに店舗の改装など、
イメージのアップを図るというこ
とは資金面などから無理な面もあ
るのかも知れません。

通利会の奮起をうながす若者も
多い「もっと特色のある、目玉の
ある通利会をつくるべきだ」「この
若者の通利会ではモチつき大会、
玉子のつかみ取り、旅行、歌謡シ
ョーへの招待など企画し、客を集

効果が上がったと認める。電器店
の若者は「これからは、お客さん
が金と品を見比べて買う時代、そ
れには多くの品を揃えるべきだ」
と語る。この店は数年前店を改装
売り場を増やし、同じ種類の品を
多く展示して客の好みに合う店づ
くりを行い、これが成功、川内、
出水あたりからも買い物客が見え
るといいます。

める工夫を行っています。

「技術で勝負します」店の信用
づくり「夜の町が潤わなければ発
展はない」「ビック大会の開催」
若者の活性化、発展のための構想
企画、熱意は充分。意欲的です。

個人では

「将来に不安」

「では、あなたの店の活性化は」
とたずねてみました。これには意
外と慎重で、個人の店が伸びなけ
れば全体的な商業の発展は望めな
い、と、それぞれ「店舗の改装」
「サービス面の向上」「ニーズに合
った店づくり」「駐車場の確保」
などの計画は持っていますが「将
来の見通しが分からないので現状
のままで行くのが精一杯」と、消
極的な意見が多い。

久保さん(脇小)

黒蔵さん(鶴中)が

市長賞に

読書感想文コンクール

昭和六十年読書感想文コンク
ールの入賞者が次のとおり決まり
ました。(敬称略)

市長賞 久保綾子(脇小) 黒蔵
恵美(鶴中)

議長賞 林裕美(脇小) 大尾恵
(鶴中)

教育賞 牛之浜輝幸(大川小)
寺園大平(鶴中)

図書賞 松園めぐみ(阿小)
柘實 しおたこういち(阿小)

南日本新聞社賞 東郷真弓(阿
小)

特選 もういゆり、谷口智江子
つきじりか 浜辺勇生 浜辺勇一

真鍋真弓 梅山志保(阿小) くぼ
まさき みなみやす子 中村さと

子 山田洋介 太田響子 大瀬裕
子(脇小) はやみずとも 西平良

則 北平聖美 別府真里(折多小)
いざかなおき(華人小) 岡山千草

(大川小) つる田みどり(田代小)
小園泉(鶴小) 若松みどり(尾崎

小) 上平崇仁 的場厚子 若松富
士子(大川中) 小村曉美(笠中)

仁礼美香(阿中) 外戸口美枝(華
人中)

入選 みやしたとも(西目小)
ほか七十七人でした。

調査内容と結果

阿久根青年会議所の会員に「阿久根市の商業について」アンケート調査を行いました。
現在、会員は五十人ですが、回答したのは十九人でした。

ほとんどが「現状では伸びない」

青年会議所会員へのアンケート

○あなたのお年は
10歳代 ○人 20歳代 二人

30歳 十六人 40歳以上 一人
○性別は
男 十八人 女 一人

○阿久根市の商業は今後伸びて（発展）いくと思いますか。
はい ○人 いいえ 十一人
わからない 八人

○阿久根市の商業は、川内と出水の谷間にあつて伸びていない、こういう意見についてどう考えま

すか。

川内、出水、長島から逆に呼びこむような商店街に。行政と商店街との協力、購買力不足が主因。早期空港道路の完成を、伸びない訳はない。そのとおり。地理的不利は明白なので交通体系の整備を、今後やり方によっては伸びていく。市民一人一人が阿久根のまちを育てるという自覚がない。若い人が働ける会社がなく活気がない。まったく同感である。

○商業が伸びるため、阿久根市にどんなことをしてほしいですか。
店舗改装等に低金利の融資を。一大改革を。市民の所得の向上をはかる。人口増が一番。地場産業の保護育成。入札で市内業者を。別に期待しない。

○あなたは、商業を発展させるためどんなことをしたいですか。
お客さんのニーズに合った商店づくり。よい案が浮ばない。人口を増やす。各種スポーツの誘致。国内型の会議の誘致。駐車場の建設。魅力ある店を集める。地元のお店を利用するよう呼びかける。地元商品の消費キャンペーン。努力のみ。

積極的な行動、今、若者に求められる時

青年会議所会員へのアンケート

調査を見ても分かります「阿久根市の商業が今後伸びて（発展して）いくと思いますか」の問いに発展すると答えた若者は一人もいません。全員が「発展しない」「分からない」と回答しています。「発展はあるのです。しかし、今の阿久根の現状から見て希望は持てない」とほとんどが語り、阿久根市全体の発展が商業の発展にもつながると唱える。

伸びていないことについての意見や、どんなことを市に協力してもらいたいのですかの問いにも、行政の対応の遅れ、など指摘が多く出されており、これらをふくめて将来への危うさを感じての考えが消極的な結果を表わしていると思われ、希望、夢、は大いにあふれるのだが、受け皿がない。若者のいらだつ気持ち、今の阿久根の商店づくりに出ているようです。

商店街の活性化を図るためには多くの難題が山積しているようです。若者が言うように人口が増

えないことには売り上げは伸びない。企業がもつと多くあれば……。若者は悩み、模索しながら、これらの問題と取り組んでいます。

駅前通りではアーケードの改築が始まりました。

阿久根青年会議所のリーダーHさんは「これから会の中で商業の活性化のためにもっと勉強し、真剣になって活動を展開する」と意欲を見せる。そして、農業、漁業、商業の若者同志の異種間交流を図りながら、この中から市全体、ひいては商業の発展策を探し出したいと燃える。

阿久根駅前通りではアーケードの改築工事が始まり新しい町づくりが始動しました。

他の通り会でも商店街活性化への動きが見られ、準備が進んでいるようです。

展望は厳しいですが、若者の皆さんが、ここでやる気、意欲、の気性を大いに発揮して明日の商

ごめいふくを
お祈りします

(60年12月分・61年1月分です)

死者 年齢

山下 ムツ	72	(上野)	俊行
前田 要	80	(新町)	猛茂
大下本サツキ	88	(大下)	松夫
平 嘉次	89	(上野)	ヨシヨシ
西平 政衛	73	(新町)	ヨシ
濱崎 操	84	(浜)	坂元昭夫
平田キクエ	75	(横手)	貞治
倉津 ワキ	82	(倉津)	末義
濱崎 アイ	92	(大丸)	藤吉
須加原 栄	77	(新町)	テル
上野 照男	89	(新町)	浩
川畑 美義	78	(尻無下)	辰美
中村 エイ	83	(大丸)	美喜雄
川畑 美良	83	(川畑中)	ミエ
濱崎 徳満	78	(段)	小吉
尻無浜サエ	80	(高松)	市次郎
尾崎ユキノ	92	(新町)	吉田和男
樂瀬スエノ	92	(米次)	マツカ
千蔵 サカ	85	(尻無下)	直輝
下園 昇	79	(尻無上)	ツタエ
須崎 ミセ	92	(大丸)	和馬
本田市次郎	87	(波留)	ワカ
和田 徳満	63	(倉津)	ツタエ
大島ヨシエ	47	(高松)	文夫
佐瀬 ツ子	82	(遠見ヶ岡)	藤本小八
濱崎 末吉	79	(佐瀬)	伊太郎
濱崎 栄喜	76	(牟田)	永喜
湯庄右衛門	76	(湯)	ミエ



活性化へ向けてアーケードの改築…駅前通り

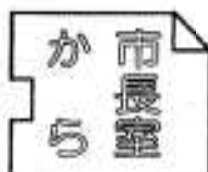
活性化は

みんなのチエで

暦の上では立春を迎えましたが、寒さはまだまだ続いているようです。

市民の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

私は年間を通して数多くの会合に出席し、多くの市民の方々と



と接し、いろいろとお話を伺います。市政発展への提言、地域の要望、個人の問題など、これらの中で市政の将来を思う意見、要望が特に多く寄せられます。多くの市民がふるさとを想い、ふるさとの発展を願う気持ちがヒシヒシと伝わってきます。いかにしてこれから先の人口を増やし、産業の振興を図り、福祉の向上を進めていくか、このことは市民の皆さんと同様に私も真剣に考え、全精力を注ぎこんでこの問題に取り組んでいるところでありますが、現状ではなかなか難しい面もあります。しかし、黙っていても市政の発展は望めません。私は諸般の状況を

考えながら、今年は「阿久根は今後どう進むべきか、今、何をなすべきか」との目標を掲げ努力して参りたいと考えています。先般仕事始めに当って、全職員に、「今、阿久根に合ったものは何か、阿久根の特性を發揮するにはどうすべきか、みんな考えてみる必要がある。そのために、市民の付託に応えられる職員になろう」と、訓辞をいたしました。このことは、市民みんなと一緒にやって阿久根市の将来を考えていくということでもあります。行政も経済団体も、商店街も、農林、漁業者も、そして各地域の方々も、みんな力を合せ総合力を發揮す

阿久根市長 川畑 強

「市民全員が地元で買って 地元の店を潤すこと」...

店街づくりに頑張ってもらいたいものです。それと、行政と民間が一体となった商業の発展策への取り組みにも期待したいものです。

市内赤瀬川でホームセンターを経営し、売り上げを飛躍的に伸ばしている若い経営者Mさんは「お客さんに合った、お客さんが求める良い商品を安く揃えておく必要がある。また、これからは時代に合った店づくりが大切で、昔ながらの商店では活性化は望めないのじゃ。市民全員が、自分たちの町を発展を望むならやはり地元で買って地元の店を潤すこと、皆さんが協力し出水、川内に負けない阿久根の商店街をつくるべきだ」と提言しました。

△——△
ご意見をお寄せ下さい。広報係まで。

べき時だと考えます。

広報あぐねでも、商業の活性化を図るための特集記事を出しておりますが、やはり行政の立場からの積極的な対応が必要であることも、理解を致しておりますが、一つには、商店の方々の意欲、取り組みにも期待をかけております。

商工業の振興を目指し、また、農林水産業の振興を図り、ひいては市全体の活力として、阿久根の発展につながるよう、市民皆さんの知恵と力を發揮して下さいようお願いします。

中村 勝雄	73 (川畑中) ナツエ	寺下 孝兵衛	83 (楊之東) 弘志	松本 孝治	29 (上原) 一雄	外園 善吉	87 (上原) 善昭	園川 ハツキク	81 (瀬之上) 實美	松延 芳栄	58 (黒之浜) シメノ	折橋 ハツエ	77 (弓木野) 勝栄	陣之後 政夫	56 (大丸) 真弓	寺下 フサ	83 (寺山) 一男	川畑 矢右衛門	76 (本之牟礼) 国一	澤田 廣三	48 (大林) チゾ子	橋元 ハツノ	91 (本町) 華南	大石 岩重	92 (波留) 哲朗	齊藤 タミ子	65 (濁) 省三	園田 ソノ	88 (山馬場) 忠三	弓場 藤七	88 (波留) 伊知知子	濱田 次郎	83 (濁) スエキタ	西田 岩吉	87 (新町) スエミツ	松元 ヨシコ	64 (浜) 功
-------	--------------	--------	-------------	-------	------------	-------	------------	---------	-------------	-------	--------------	--------	-------------	--------	------------	-------	------------	---------	--------------	-------	-------------	--------	------------	-------	------------	--------	-----------	-------	-------------	-------	--------------	-------	-------------	-------	--------------	--------	----------



表彰を受ける分団員

山下さんらを

消防庁長官表彰

消防出初め式

牛之浜自治公民館など
表彰：社会教育大会

第十一回阿久根市社会教育大会
は二月二十五日、市の中央公民館
に各区の自治公民館長、各成人学

級長など四百人が出席して行われ
ました。

▽社会教育功労者表彰

牛之浜自治公民館、上原長寿会

花田房義さん

なお、花だんコンクール入賞団

体は、広報十一月号に掲載すみ

です。

いつでも、どこでも

だれでも学べる西高へ

鹿児島西高等学校通信制

鹿児島西高等学校通信制では、

今、昭和六十一年度新入生を募集

しています。

詳しくは同校 ☎ 0992-2937

44へ

奥平武人、白肌守

▽優良団員

黒崎義久、山元正和、中村主税

都津川正勝、堀切栄一、川崎誠

田上洋、妹尾英機、恒吉次則、中

村健一、中尾美敏

市長表彰

▽退団者特別功労者感謝状

山下正雄

▽幹部退団者感謝状

川原義弘

團長表彰

▽勤続章（十年）

園田敏雄、京田博文、松永新市

黒崎春喜、田上謙、田添善信、園

田忠一、川原克郎、波留和典、奥

平俊則、高原熊雄、竹原辰一

（いずれも敬称略）

年金相談日

毎月20日

（休日の場合は翌日

になります）

国民年金協会

あなたの医療費です……田代校区 昭和59年度

医療費の中には老人保健医療費 $\frac{10億3,145万円}{2,651人} = 38万9千円$ は含みません

区名	国保世帯	被保険者数	受診件数	医療費合計	世帯当医療費	世帯当保険税
尾原	24戸	57人	284件	9,204,720円	383,530円	67,429円
米次	22	52	210	2,621,770	119,171	60,180
田代中	43	83	428	8,795,400	204,544	60,729
田代下	36	74	349	4,240,610	117,795	65,550

「いめいふくつづき」

尻無誤義孝 49（尻無下）実雄

松野 タマ 87（濁）藤田ニ子

濱田シズノ 57（大丸）藤男

倉津 時蔵 73（浜）ツヤノ

出生のつづき

別府よりか 徳幸（折口東）

別府さやか

折橋 尚子 喜典（大尾）

谷口 文 裕司（牧内）

新蔵やよい 明伸（牧内）

尻無 友紀 良輝（尻無中）

「訂正します」

▽先月号の誕生おめでとうコーナー
で、出生児渡田沙弥香ちゃん
の保護者が雪夫さんとなつていまし
たが、伸治さんに訂正します。

▽昭和六十年度の「財政事情の公
表」を配布しましたが、市税の収
入状況中「市民一人当りの負担額」
「二世帯当りの負担額」の単位が
「千円」とありましたが「円」の
誤りでした。訂正します。

固定資産課税

台帳の縦覧を

三月一日から二十日まで

昭和六十一年度固定資産課税台

帳の縦覧を二月一日（土）から二

十日（木）まで、土曜日の午後と

日曜日を除き、市役所税務課で実

施します。



雪の中 駅伝大会……西目校区

雪、寒風ついて力走 各区で駅伝大会

永田Aが優勝

▽第十三回折多校区新春駅伝大会
一月二日実施

一位永田上A 二位藤田 三位内田
四位折口東 五位大下 六位半田
七位永田上B 八位永田下 九位
丸内 十位大林 十一位陳之尾

佐潟Aが優勝

▽第六回西目校区一周駅伝大会
一月五日実施

一位佐潟A 二位高之口A 三位
飛松A 四位佐潟B 五位飛松B
六位高之口B 七位大川島 八位

隼人Aが優勝

▽第四回隼人校区親子駅伝
一月十五日実施

一位隼人A 二位D 三位E 四
位F 五位B 六位C

赤Aが優勝

▽第九回山下校区駅伝大会
一月十九日実施

一位赤A 二位紫A 三位赤B
四位白A 五位白B 六位紫B
（赤は山馬場、紫は山下麓、白
は上下遠矢、改進、波留諏訪、諏
訪園地）

段が優勝

▽第九回同久根小PTA親子駅伝
一月十九日実施

一位段 二位寺山 三位中村 四
位高 五位新町 六位波留 七位
大尾 八位高松 九位大丸 十位
浜 十一位浦 十二位上野

鶴中（オープン）優勝

▽第九回鶴中内校区対抗駅伝
一月十九日実施

一位鶴中バレー部（オープン）
二位園田 三位長野 四位羽田
五位横手 六位オドモンス（オ
ーブン） 七位スポーツ少年団（オ
ーブン） 八位椿A 九位下桑原
十位上桑原 十一位椿B

年金法改正に伴う 説明会を開催します

▽時間は午後七時から、（一）が開
催の公民館（同）は同じ場所
2月17日永田下、永田上（永田下）
倉津、遠見ヶ岡（倉津）米次、尾
原（尾原）18日陳之尾、大下、丸
内（丸内）波留（同）田代中、田
下（田代中）19日内田、町、木佐
木野（同）20日臨馬場、臨本浜
（地区公民館）高松（同）長谷、
上桑原、下桑原（構造改善センタ
ー）21日椿（同）22日高田、上野
（同）24日上原、下村（地区公民
館）新町（同）高原（同）25日大
淵川、浜、羽田（同）26日桐野上、
桐、横手（同）28日桐野下、寺山、
荻野（同）3月1日瀬之上（同）
3日瀬之下、段、馬見塚（同）4
日古里、大尾、落（同）5日橋之
東（同）牧内、東牧内（牧内）伊
礼（同）6日橋之西、中村、本之牟
礼（同）7日牛之浜（同）8日黒
之浜、大谷（漁村の家）浦（同）
仲仁田（同）9日黒之上（同）10
日深田、佐潟、川畑中（同）11日
松ヶ根、笠山（松ヶ根）高之口
（同）中屋敷（同）12日大瀬、大
川島（同）的場（大川地区公民館）
13日小瀬、飛松（同）尻無上（表
川内）15日八郷（同）遠矢、馬場
（遠矢）尻無中（南畑）17日尾崎、
尻無下（同）18日木野（同）

所得税の確定申告が 始まります

2月16日から
3月15日まで

阿久根市分の納税相談は
2月19日から25日まで
（日曜日除く）
市役所大会議室です。

郷土の地名誌

阿久根の地名



…ができました…
（A 5巻、280頁
上製本、箱入
価格、1,400円）

郷土の地名のおこりや、由来についてのいい
伝えなどが、たのしく読めるように写真やカ
ット入りで240編が収められています。

ご希望の方は

市立図書館、三笠支所、大川出張所で
TEL（2-0607）（5-0002）（4-0001）
お問い合わせください。
（郵送を希望される方は350円を加算してください）

働く婦人の家まつり…第3回

- と き 3月15日（土）13：00～17：30
3月16日（日）10：00～15：00
- ところ 働く婦人の家
- 内 容
（1）作品展示
（2）講演会
・日時 3月15日（土）16：00～17：30
・講師 MBC専属タレント 瀬川洋一郎氏
・演題 「ことばから見た
ふるさと鹿児島県のよさ」
一人情・風土一
（3）学習成果発表会
・日時 3月16日（日）13：30～15：00
（4）バザー
・日時 3月15日（土）17：30～



私たち、内山病院バレーボールクラブ、通称内山病院クラブは、現在部員数十一人、コーチ四人

若さあふれるチーム

内山病院 バレーボール クラブ

マネージャー三人で活動している。ここ数年の成績は、市内リーグ戦及び職場対抗では、常に上位を占め、昨年九月の実業団鹿児島県大会においては、二位の成績を残している。

練習は、火曜日、勤労者体育センター、木曜日、阿久根農高体育館の週一回で、主にレシーブ、サーブ、スパイクを主体とし、基礎

体力作りにも取り組んでいる。

活動における悩みとしては、部員数の確保ということが上げられる。ベストなチーム作りをするためにもぜひ若い力を望みたい。平均年齢二十一歳と、若さあふれるチームです。大きな可能性と期待が持たれています。

今年も、リーグ戦優勝、県大会上位を目標に部員一同が、一丸と

サークル紹介 ②⑧

阿久根歌壇

折田憲司選

(秀逸) 風そよぐ枯葉原はあたたかき冬陽にその葉がゆれることなし

高松 勝目 悦子

(評) 詩の素材になりにくい枯葉原を「あたたかき冬陽」と共に捉へるべきものを捉へて鮮やか、自然の微妙な感受が深い。

(佳作) 庭木々にあまねく光足らしめて大晦(おぼつより)の日は移りふ

赤瀬川 海平 三蔵

2月23日

有村内産婦人科③4180(安平)
喜多医院 ②0038(大丸)
臨本病院 ⑤2121(橋之西)

3月2日

上関医院 ③1055(本町)
林胃腸科外科③3639(大丸)
浜之下医院 ⑤2600(馬場)

3月9日

堀切産婦人科②0263(高松)
北国医院 ②0016(本町)
黒木外科 ⑤0200(下村)

3月16日

大塚眼科 ②0306(浜町)
田中外科 ③0553(大丸)
平医院 ⑤2626(古里)

3月21日(春分の日)

簡井耳鼻咽喉科②0040(栄町)
内山病院 ③1551(高松)
石原医院 ⑤0045(橋之西)

在宅医の診療時間は、午前九時から午後五時まで、急患の方以外は、遠慮ください。

友だちの作品

大川中学校



なつて大きく飛躍することを望みたい。ぜひ見学、遊びに来て下さい。キャブテンは、高原英子さんです。

桜岳と
錦江
三年 大田京子

桜岳と
錦江
二年 下田寿人

桜岳と
錦江
大川三年 斎藤まさる

キャブシニカードを機器にさし込む。桐野 竹原キミエ
孫よりの漫画の質状ユニークにて微笑み見聞かぬ正月の朝
小きけれど大樹の風情思はする樺の盆栽求め来にけり
琴平町 川畑 スミ
われ病みて既に五年を過ぎたれば訪(おとな)ふ人の年々に減る
佐 堀 富吉 元美
このコーナーでは初心者の方々の投稿を受け付けます。広聴係まで。

図書館だより

今月の新着図書



としょかんだより

▽吉井由吉「裸々虫記」▽北方謙三「われらが時の輝き」▽高田常雄「弁慶③④」▽陳舜臣「波の残影上・下」▽フランソワーズ・サガン「ボルジア家の黄金の血」▽水上勉「藩川」▽松本清張「聖獣配列上・下」▽野坂昭如「タツクル右往左往」▽阿刀田高「知らない劇場」▽岡地文子「有縁の人々」▽西村京太郎「寝台急行」▽天の川「殺人事件」▽山口洋子「木と話す女」▽森瑞子「ベッドのおとぎばなし」▽高橋治「殺意の断崖」▽桐島洋子「女の午後の胸さわぎ」▽つかこうへい「スタ一誕生」▽森瑞子「カナの結婚」▽石川淳「天門」▽山田太一「ラヴ」▽村松友規「盗まれたウェディング・ベル」▽宮尾登美子「小さな花にも蝶」▽三枝和子「光る沼にいた女」▽豊田穠「人間交響楽6」

ふるちこの



じいちゃん

ばあちゃん



むかし、秘本の京田というところに、兄が清、弟が六というたいへん仲よしの兄弟がいました。

ある年の、瀬もおしせまった日に、清と六の兄弟の家に役人が回って来て「正月の餅はいくら揃ったか」と尋ねました。そのころは、一人一升しか揃えなかったが許されてなかったのです。それを越えて揃った者は、厳しく罰せられることになって

わんみのねあく 清と六

大丸区 草原 新さん提供

49



市内新町区 坂元政春さん(73)
元気いっぱい。ゲートボールも楽しかな。

仲のよい兄弟は、定められたとおり一升しか揃えなかったもので、正直に、兄の清が、「はい、六と一升揃えました」と答えました。役人は、びっくりして「六斗二升揃えた、と申したな、お定めにそむくとはけしからん」と、真赤になって怒りました。清は、正直に答えたのに、叱り

とばされるとはどうしたことだろうと不思議でなりませんでした。

役人は「今お前がいった六斗二升は大変な量の餅ではないかとえらい剣幕です。

役人の勘違いに気がかない清は「私達兄弟はうそいつわりは申しません弟の六と一升だけしか揃えません」と、いいますと役人は「何が正直か、そんなに沢山揃くとはふとどきだ」と増々怒るばかりです。

そこで昨日揃えた餅の全部を六に持ってこさせて役人の前に差し出し、「これが弟の六で餅の二升でございます」というと役人はやつと言葉の違いがわかったとみえて「六斗一升と、六と一升との間違いか」と、うなずいたということです。

書評

黒色と紙の白との調和がよく、基本もしつかりたい作品です。筆速・線の大小・線の強弱に注意して練習するとともにすばらしい作品になります。根気強く練習しよう。





みんなの広場

行事・催し物など、お寄せください。☎1211内214へ

むかしのこどもの

あそび

32

足ケンケン

左片足を、後に曲げて、左手で曲げた足を握る。(反対の右足、右手でもよい)
右手や右肩、胸で、相手をついて、線の外に出すか、倒す。
足を握っている手をはなしても負けになる。

にわといのけんか、とか、ケンケンずもうともいう。



双津川の勉強をする参加者

史跡めぐり歩け歩け大会

臨本地区子ども会育成会

史跡を勉強しながら、体力づくり。一月十二日、臨本地区子ども会育成会では、校区内の史跡めぐり歩け歩け大会を実施しました。四回目の大会には二歳の鯉島伸也ちゃんからお年寄りまで二百人が参加。臨本小学校を出発、愛宕神社、若宮神社、新田の古墳、早馬神社など、約十二キロのコースで史跡の勉強と体力づくりに冬の一日を楽しんでいました。

が ん ば っ て
い ま す



砂畑敬四郎さん (31)

市内新町区

国土地理院の阿久根験潮場で13年間、毎日九時観測しています。

近畿地区阿久根会より

四万六千九百円の寄付

近畿地区阿久根会では、このほど大阪城公園でレクリエーション

大会を行いました。その時、郷土のために募金を集ったところ四万六千九百十円が寄せられ、このほど市に寄付されました。ありがとうございます。

四百人が大人の仲間入り——成人式

晴れ着が半数以上

昭和六十一年阿久根市成人式は一月五日、中央公民館に四百人が参加して行われました。式では川畑市長が「社会の仲間入りする皆さんには大きな期

待があります。地域の連帯づくり、まちづくりに頑張ってください」と激励しました。成人者を代表して渡留区の上堀紀明さん、太下区の寺園秀子さんが、「これからの一分一秒を大切にしたい」「信念をもって生きたい」と感想を述べました。式は講演や記念撮影などが行われ、会場は二十歳を迎えた若者たちで熱気にあふれていました。また、女性の半数以上が晴れ着で出席していました。

人 □ 住民基本台帳人口と世帯数

(2月18現在)
(1月1日から)

人 □	29,658 (+27)
男	13,799 (+5)
女	15,859 (+22)
世帯数	9,905 (+2)

ハイ元気だよ



北国うらちゃん(右、1歳1ヶ月)

陽ちゃん(左、4ヶ月)

市内本町

北国 敏さんの長女、次男

仲良く元気な、あかるい子供に育ってほしい。
たか子さん(お母さん)



上妻京子さん(42)

おかあさん

ありがとう 15

市内西目黒之口

上妻 靖治(11)

ばくのお母さんは、日曜日も働

いています。朝は仕事の前にせん
たくなど家の仕事をします。それ
から仕事に行きます。仕事場でも
水仕事があるのに冷たくないのか
なあとあります。そのうえにずつ
と立っているで足がいたそうで
す。仕事が終わって夕食の買物を
して帰ってきます。
夕方、家に着いて夕食の準備に
かかります。時にはばくも手伝い
ますが、仕事でつかれて家事まで
するのは、すごいことだと思いま
す。



麦ほめの行事

倉津地区

豊作と大漁を祈る、倉津地区の
麦ほめの行事が一月十四日行われ

モチつきの プレゼント

阿久根市農協青婦部

阿久根市農協青年婦人部(寺下
順部長)の部員十七人が、一月十
一日湯島の阿久根幼稚園を訪ね、
昔ながらのキネとウスを使ったモ
チつきを子どもたちに披露しまし
た。
園でのモチつきは初めてであつ



子どもたちが二班に分かれ、各家
で「ここん〇〇はよか〇〇じや」
と、大声でほめて回りました。
(写真は丁字型のつえにつかまり、
大声ではやす子供たち)

て子どもたちは大喜び、「ヨイシ
ヨ、ヨイシヨ」と一緒にかけ声を

かけて、モチつきを楽しんではい
ました。

仲よしでーす イヌとネコ



市内鶴川内木佐木野の鶴田
幸男さん宅で飼っているイヌ
(トムちゃん)と七匹のネコ、
一緒にイヌ小屋の中で遊んだ
りジャレたりして、とても仲
よしです。

初泳ぎ(二月一日)

水泳協会



鬼火たき(二月七日)

黒之浜区



交通事故相談日

三月十四日(金)

市民相談室

1月の市内交通事故

発生件数	16
死亡者数	1
傷者数	23

ワンちゃんの
引き取り

2月25日
3月4日・13日
午前10時～10時半
保健センター

一月の火災発生数
救急車出動回数

70 1

消防
ミニニュース

お知らせ

市の奨学生を募集
各種学校・専修学校も
対象に……

……3月25日まで

市では、昭和六十一年度の奨学生を募集しています。申し込み資格は次のとおりです。

▽資格、本市に三年以上在住する方の子弟で、学校教育法による高等学校、高等専門学校、大学及び修学年限一年以上の教育施設、又は、養成所等に在学し、優れた学生、生徒で、経済的理由により



計量器の検査を

3月5日から13日まで

▽3月5日 大田出張所 10時から14時 農協牛之浜支所 14時30分から15時30分 6日 高之口公民館 10時から11時30分 三笠町農協集荷所 13時から15時(7日も農協は10時から14時実施) 11日 12日、13日 中央公民館 10時から15時(13日は10時から14時)

市民駐車場のご利用を

現在、市役所庁舎別館を建設中のため、市役所においての市民の皆さん方に駐車して迷惑をおかけしています。駐車場は市役所構内の市民駐車場のほかに市役所東側にも市民駐車場を設けてありますので、市役所におこしの時はご利用ください。

修学に困難があると認められる方となつています。なお、昭和六十一年度から修学年限一年以上の各種学校や専修学校も対象となりました。

○高等専門学校・専修学校(専門課程) 月額 一万円
○大学 月額 一万二千円
○その他 月額 六千二百円
▽募集 三月二十五日(火)まで
詳しいことについては、市教育委員会庶務課③1211
内311へ。

国勢調査

市の人口(概数)	
人口	29,186人
男	13,435人
女	15,751人
世帯数	10,031
人口は前回(昭和55年度)より△341人	

社協だより

次のかたがたから、香典返しとして、市社会福祉協議会に寄付がありました。ありがとうございます。

(敬称略)

川畑辰美(屋下) 倉津末義(倉津) 須賀原テル(新町) 古田和男(同) 上野浩(同) 橋元華南(本町) 外園力(上原) 中村ナツエ(川畑中) 園田忠二(山馬場) 川畑アイミツ(本之牟礼) 本田光義(波留)

▼篤志寄付
東京都の波多野愛さん。マラソンで日本一周しながら各地の社会福祉協議会に寄付。

編集後記

人から「あなたの生への支えは何ですか。」とたずねられたら、あなたは何かと答えますか。「子ども」「妻」「両親」「仕事」……さて、私は、というと、一瞬考えこんでしまう。

今日の表紙に掲載した牛ノ浜忍さんを取材して、「生きる支え」と、いうものがどれだけ人生に大切なものか痛感した。忍さんは紹介しているとおり目がほとんど見えないう。全盲。本当に苦しい、辛い人生だと思ふ。が、忍さんは、狂句を自分の生きる支えとしている。健康者に負けてなるものかと血のにじむような勉強、目の見えないう中での作品づくり、めい、おいの暖かい協力で支えられて忍さんは頑張ったという。今では作品も見とめられた。狂句が花したのだ。生への支えをまのあたりに見、感銘を受けた。

市内には体の不自由な方々が多い。同様に支えを求めて生きている。私共健康者はそれに少しでも応えてやる必要があると思う。また、痛みのわかる人間になりたい。(哲)